

(12) 医療メンバー

様々の医療従事者と協調・協力し、的確に情報を交換して問題に対処できる。

- 1) 指導医・専門医のコンサルタント、指導を受ける。
- 2) 他科、他施設へ紹介・転送する。
- 3) 検査、治療・リハビリテーション、看護・介助等の幅広いスタッフについて、チーム医療を率先して組織し、実践する。
- 4) 在宅医療チームを調整する。

(13) 文書記録

適切に文書を作成し、管理できる。

(14) 診療計画・評価法

総合的に問題点を分析・判断し、評価できる。

- 1) 必要な情報収集（文献検索を含む）
- 2) 問題点整理
- 3) 診療計画の作成・変更
- 4) 入退院の判定
- 5) 症例提示・要約
- 6) 自己及び第三者による評価と改善
- 7) 剖検

4. 基本研修プログラム

1) 研修の目標

以後の研修に先立ち、医療に関する最も基本的で重要な事項について具体的な理解を深め、効果的な研修が行えるようにする。

A. 一般研修目標

- 1) 医療の社会的側面についての理解を深める
- 2) 患者・家族との関係と医の倫理についての理解を深める。
- 3) 地域医療体制と院内組織を理解する。
- 4) 文書、記録の作成・利用など具体的に理解する。
- 5) 薬物の取り扱いの基本的事項を理解する。
- 6) 検査科、放射線科、リハビリテーション科などの業務の実態を理解し、基礎的検査法についての習得を図る。

B. 具体的研修目標

- 1) 医療における医師の責務についての理解を深める。
医療行為、応召義務、交付義務、指導義務、診療録記載義務、届出義務など
- 2) 医療関係職種の仕事とチーム医療について理解を深める。
- 3) 医療保険制度、社会保障について理解を深める。
健康保険、労災保険、自賠責保険、医療費公費負担制度など
- 4) 患者・家族との関係と医の倫理についての理解と正しい態度を身につける。
コミュニケーション、インフォームド・コンセント、脳死、臓器移植など
- 5) 地域の医療体制を理解する。
救急医療体制、新生児医療体制、福祉施設、保健所、福祉事務所、各研究会など
- 6) 院内組織と院内各部門での業務の実態を理解する。
患者、職員、情報の動きなど
- 7) 診療録、診断書の正しい取扱い方を身につける。
診療録、診断書、病歴管理、国際疾病分類（ICD）など
- 8) 一般医薬品、血液製剤、麻薬の取扱、医薬品副作用報告書等を正しく理解する。

- 9) 検査科で研修を行い、業務の流れを把握し、基礎的検査法を習得する。必要に応じて自ら実施し、結果を解釈すべき基本的検査法を対象とする。
- 10) 放射線科での研修を行い、業務の流れを把握し、以後、効率的なレントゲン検査指示が行えるようにする。
- 11) リハビリテーション部門、救急外来での業務を研修する。

2) 初期医療の基本的知識・技能 (基本研修)

a. 診療法

一般目標 (GIO): 卒前に習得した面接法で診察法をさらに発展させ、初期診療に必要な基本的診察法を身につける。

行動目標 (SBO):

1. 全身の診察を正確に、かつ要領よく行える。
2. 眼底の重大な所見を記述できる。
3. 外耳道、鼓膜、鼻腔、咽頭、喉頭の異常を記述することができる。
4. 直腸診で大きな異常を見つけることができる。
5. 男・女性器の異常を指摘できる。
6. 妊娠の初期症状を把握できる。
7. 皮膚の所見を記述できる。
8. 骨折、脱臼、捻挫の診断ができる。

チェック

指導医
サイン

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

b. 基本的臨床検査法

GIO: 基本的な臨床検査法の選択、結果を解釈でき、緊急検査を実施できるようになる。

SBO:

チェック指導医サイン

1. 尿の一般検査を行い、検査の意義を解釈することができる。
2. 便の肉眼的検査を潜血反応を実施し、解釈することができる。
3. 血液一般検査と白血球百分率検査を実施し、異常な細胞について指導医に相談する。
4. 出血時間の測定を行い、血液凝固機能に関する検査を指示し、結果を解釈できる。
5. 血中尿素と血糖の簡易検査を実施し、解釈することができる。
6. 血清生化学的検査を適切に指示し、その結果を解釈できる。
7. 血液ガス分析を行い、結果を解釈できる。
8. 血清免疫学的検査を適切に指示し、重要な異常を指摘できる。
9. 内分泌学的検査を適切に指示し、その結果を解釈できる。
10. 細菌塗抹、培養および薬剤官受精試験の結果を解釈することができる。
11. 腰椎穿刺を行い、髄液検査を指示し、結果を解釈することができる。
12. 心電図をとり、その主要変化を解釈することができる。
13. 肺機能検査の指示を行い、主要な変化を指摘できる。
14. 脳波上の主要な異常波を指摘できる。
15. 消化器検査の主なものを指示し、成績を解釈できる。
16. 超音波検査の指示を行い、主要な変化を指摘できる。

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

c. X線検査法

GIO: 基本的なX線検査法を指示し、読影力を身につける。

SBO:

1. X線障害の予防を考慮して胸部・腹部・頭蓋・脊椎の5肢骨の単純X線写真を指示し、結果を指導医と相談する。
2. 消化管・肺・脳・腎の造影法(血管撮影を含む)によるX線像の主な異常を指摘できる。
3. 頭部・頸部・体幹のCTスキャンMRI像の主要変化を指摘できる。

_____	_____
_____	_____
_____	_____

d. 核医学検査法

G I O : 基本的な核医学検査を指示し、その結果を分析する能力を身につける。

S B O :

エツク 月日

- 1. 汎用される核物質を列挙することができる。 _____
- 2. 各種核医学検査の適応を述べ、指摘することができる。 _____
- 3. 各種核医学画像の大きな変化を指摘し、分析することができる。 _____

e. 滅菌・消毒法

G I O : 無菌的処置の際に必要な各種の滅菌、消毒法についての知識と技能を身につける。

S B O :

- 1. 手術・観血的検査・創傷の治療などの無菌的処置の際に用いる器具や諸材料の滅菌法を述べることができる。 _____
- 2. 滅菌手術着や手袋の着用ができ、手指を適切に消毒することができる。 _____
- 3. 手術の術前の清拭や剃毛の指示と確認および消毒を行うことができる。 _____

f. 採血法

G I O : 臨床検査及び輸血のための血液を採取する技能を身につける。

S B O :

チェック 指導医

- 1. 目標とする臨床検査の種類に応じて注射器や容器の準備を指示し、確認できる。 _____
- 2. 臨床検査に必要な採血量をあらかじめ定めることができる。 _____
- 3. 静脈採血を正しく採血できる。 _____
- 4. 動脈採血を正しく採血できる。 _____
- 5. 採取した血液の検査前の処理を適切に行うことができる。 _____
- 6. 供血用血液を採取する際の諸注意を守り、正しく採取できる。 _____

g. 注射法

G I O : 各注射法の適応についての知識と、正しい注射法の技術を身につける。

S B O :

- 1. 注射によって起こりうる障害を列挙し、その予防策と治療法を講じることができる。 _____
- 2. 注射部位を正しく選択できる。 _____
- 3. 皮下、皮内、静脈、動脈等各注射法の特色と危険を確認して実施できる。 _____

h. 輸血・輸液法

G I O : 輸血・輸液の基本的知識と手技を身につける。

S B O :

- 1. 輸血の種類と適応を述べることができ、輸血を正しく実施できる。 _____
- 2. 血液型検査の指示と解釈が適切にでき、クロスマッチを正確に実施し、判断できる。 _____
- 3. 輸血量と速度を決定できる。 _____
- 4. 輸血による副作用と事故を列挙でき、その予防・診断・治療法を実施できる。 _____
- 5. 輸液を正しく実施できる。すなわち水・電解質代謝の基本理論、輸液の種類と適応をあげ、輸液する薬液とその量を決定できる。 _____
- 6. 輸液によって起こりうる障害をあげ、その予防・診断・治療ができる。 _____

i. 穿刺法

G I O : 診断また治療上必要な体腔などの穿刺法についての正しい知識と技能を身につける。

S B O :

1. 腰椎、胸腔、腹腔、骨髄の各穿刺法の目的、適応、禁忌、実施方法、使用器具、実施上の注意、起こりうる障害とその処置について説明でき、実施できる。
2. 内圧測定、採液、排液、脱気、薬剤注入など各目標に応じて適切な器具と方法を選択できる。
3. 採取した液についての適切な検査を指示し、その成績を解釈できる。
4. 薬剤注入の適応を正しく判断できる。

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

j. 導尿法

G I O : 確実な導入ができる知識と技能を身につける。

S B O :

1. 導尿に関連する障害を列挙し、その予防策を講じることができる。
2. 持続的導尿の管理ができ、中止する条件を述べることができる。
3. 膀胱穿刺の必要な条件と実施する方法を述べることができる。

_____	_____
_____	_____
_____	_____

k. 処方

G I O : 一般的な薬剤についての知識と処方の仕方を身につける。

S B O :

1. 一般的経口および注射薬剤の適応、禁忌、使用量、副作用、配合禁忌、使用上の注意をあげ、処方できる。
2. 薬物療法の成果を評価することができる。
3. 麻薬の取扱い上の注意を述べ、正しく処方し、積雪に処理できる。

チェック	指導医
_____	_____
_____	_____
_____	_____

l. 簡単な局所麻酔と外科手術

G I O : 簡単な基本的局所麻酔と外科的手技を身につける。

S B O :

1. 汎用される外科器具（メス、剪刀、鉤、縫合針、縫合糸）の操作ができる。
2. 上記の外科器具を適切に選択できる。
3. 局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える。
4. 簡単な創面の止血（圧迫、圧座、結紮、縫合）が行える。
5. 単純な皮下腫瘍の切開や排膿ができる。

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

m. 術前術後の管理

G I O : 手術前の患者の基礎的な管理能力を身につける。

S B O :

1. 手術の適応に必要な既往歴の問診を行い、術前の検査を指示し、結果を判断できる。
2. 手術予定患者の不安に心理的配慮を行い、術前の処置を指示できる。
3. 術後起こりうる合併症および異常に対して基礎的な対処ができる。

_____	_____
_____	_____
_____	_____

n. 救急対処法

G I O : 救急に対するために急性諸症の諸原因を再確認し、与えられた状況下で最も適切な処置を講じることができる。

S B O :

1. バイタルサイン（意識、体温、呼吸、循環動態、尿量など）のチェックができる。

チェック	指導医
_____	_____

